

## 平成16年木材（用材）需給見通しの概要

製材用の需要については、平成16年の新設住宅着工戸数は、昨年 of 駆け込み需要の反動等により前年を若干下回るものと見込まれることなどから、前年比3.2%減になるものと見通される。

合板用の需要については、針葉樹合板が主体となった国内製造が増加し、合板の輸入は大幅に減少した昨年に比べ増加が見込まれることから、前年比2.1%増になるものと見通される。

パルプ・チップ用の需要については、紙・板紙生産量が前年より若干増加すると見込まれることなどから、前年比0.6%増になるものと見通される。

その他用（集成材等）の需要については、集成材に対する安定した需要が見込まれることなどから、前年比5.7%増になるものと見通される。

この結果、総需要量は、昨年を下回る8,736万 $m^3$ 程度（前年見込み比0.5%減）になるものと見通される。

なお、供給面では国産材は1,673万 $m^3$ 程度（前年見込み比0.7%増）、輸入材は7,063万 $m^3$ 程度（前年見込み比0.8%減）になるものと見通される。

## 木材（用材）の需給の実績と見通し

（単位：千m<sup>3</sup>）

年次	需 要					供 給											
	総 数	製材用	合板用	パルプ・チップ用	その他用	総 数	国 産 材			工場残材	輸 入 材						
							総 数	丸太	林地残材		総 数	丸太	製材	合単板	チップ	パルプ	その他
平成 2 年	111,160	53,887	14,546	< 7,336 > 41,344	1,383	111,160	29,367	29,300	67	< 7,336 >	81,793	33,861	12,598	4,707	20,252	9,721	654
3 年	112,202	52,230	14,216	< 7,162 > 44,245	1,511	112,202	27,999	27,938	61	< 7,162 >	84,203	32,150	12,868	5,016	23,462	9,878	829
4 年	108,530	50,551	13,800	< 6,752 > 42,760	1,419	108,530	27,165	27,114	51	< 6,752 >	81,365	30,350	12,424	4,899	22,518	10,405	769
5 年	108,383	51,159	14,533	< 6,639 > 40,894	1,797	108,383	25,597	25,570	27	< 6,639 >	82,786	27,714	14,445	6,642	21,829	10,972	1,184
6 年	109,501	51,001	14,099	< 6,542 > 42,375	2,025	109,501	24,477	24,456	21	< 6,542 >	85,024	26,915	14,610	6,498	23,162	12,389	1,449
7 年	111,921	50,384	14,314	< 6,280 > 44,922	2,301	111,921	22,915	22,897	18	< 6,280 >	89,006	25,865	15,982	6,993	26,411	11,990	1,765
8 年	112,325	49,758	15,726	< 6,443 > 43,822	3,018	112,325	22,483	22,469	14	< 6,443 >	89,842	25,126	16,188	8,415	26,361	11,248	2,503
9 年	109,901	48,339	15,252	< 6,266 > 43,736	2,574	109,901	21,564	21,551	13	< 6,266 >	88,337	22,966	17,119	8,422	26,406	11,327	2,097
10年	92,056	37,161	11,146	< 6,299 > 42,140	1,609	92,056	19,331	19,316	15	< 6,299 >	72,725	18,597	10,582	6,082	25,721	10,541	1,201
11年	97,810	41,178	13,705	< 6,166 > 40,956	1,970	97,810	18,762	18,737	25	< 6,166 >	79,048	18,787	15,081	8,181	25,295	10,144	1,560
12年	99,260	40,946	13,825	< 6,537 > 42,186	2,303	99,260	18,019	17,987	32	< 6,537 >	81,241	18,018	15,913	8,424	26,661	10,320	1,904
13年	91,245	37,087	13,074	< 6,319 > 38,706	2,377	91,245	16,757	16,722	35	< 6,319 >	74,488	15,942	14,340	8,423	25,104	8,659	2,019
14年	88,125 ( 96.6 )	34,856 ( 94.0 )	13,226 ( 101.2 )	< 7,174 > 37,607 ( 97.2 )	2,436 ( 102.5 )	88,125 ( 96.6 )	16,075 ( 95.9 )	15,980 ( 95.6 )	95 ( 271.4 )	< 7,174 > ( 113.5 )	72,050 ( 96.7 )	14,865 ( 93.2 )	13,694 ( 95.5 )	8,502 ( 100.9 )	24,791 ( 98.8 )	8,101 ( 93.6 )	2,097 ( 103.9 )
15年 見込み	87,838 ( 99.7 )	35,441 ( 101.7 )	12,810 ( 96.9 )	< 7,951 > 36,964 ( 98.3 )	2,623 ( 107.7 )	87,838 ( 99.7 )	16,620 ( 103.4 )	16,477 ( 103.1 )	143 ( 150.5 )	< 7,951 > ( 110.8 )	71,218 ( 98.8 )	14,579 ( 98.1 )	14,104 ( 103.0 )	7,897 ( 92.9 )	24,322 ( 98.1 )	8,022 ( 99.0 )	2,294 ( 109.4 )
16年 見通し	87,361 ( 99.5 )	34,315 ( 96.8 )	13,082 ( 102.1 )	< 8,638 > 37,191 ( 100.6 )	2,773 ( 105.7 )	87,361 ( 99.5 )	16,729 ( 100.7 )	16,530 ( 100.3 )	199 ( 139.2 )	< 8,638 > ( 108.6 )	70,632 ( 99.2 )	14,108 ( 96.8 )	13,467 ( 95.5 )	8,094 ( 102.5 )	24,468 ( 100.6 )	8,022 ( 100.0 )	2,473 ( 107.8 )

資料：平成 2 年～平成 1 4 年は林野庁「木材需給表」。平成 1 5 年見込み及び平成 1 6 年見通しは、平成 1 6 年 3 月に策定した数値である。

- 注：
- 1．輸入材のうち、製材、合単板、チップ、パルプ及びその他は、丸太換算材積である。
  - 2．本表には薪炭材及びしいたけ原木を含まない。
  - 3．平成 3 年からは、輸入の構造用集成材が需要のその他用、供給のその他に含まれている。
  - 4．< >内は、工場残材及び解体材・廃材を利用した木材チップの需給量であり、製材用等に丸太換算して含まれているため外書きとした。
  - 5．( )内は、前年比(%)である。
  - 6．数値の合計値は、四捨五入のため一致しないものがある。